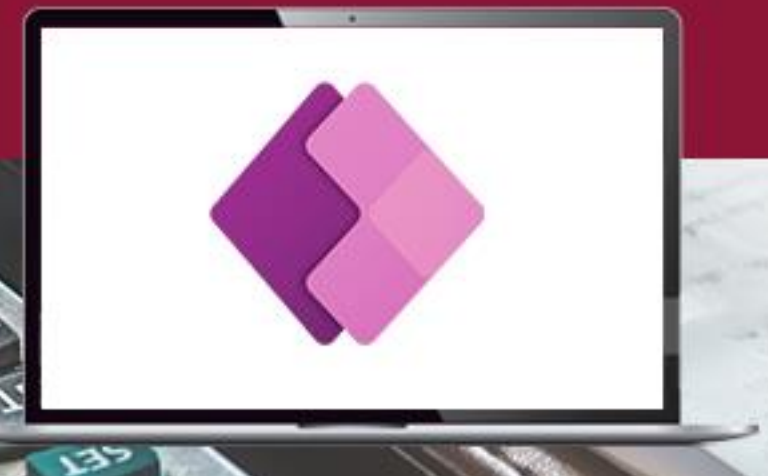


現場のDX推進で業務改革

【Power Apps実例】 管理者負担とコストを削減した進捗管理アプリ開発



INDEX

はじめに	02
企業のDXをサポートするPower Apps	
1 導入の背景	04
課題：難易度の高い大規模PJ管理・現場のDX推進	05
2 Power Apps が選ばれた理由	08
メリット1：ExcelやPowerPointの使用感	10
メリット2：プログラミングや専門知識が不要	11
メリット3：Microsoft 365のサービスで利用可能	12
3 導入の効果	13
効果1：作成したアプリで現場の業務効率を向上	14
効果2：入社1年目の社員がアプリ開発	15
現場のDXを推進する4つのアプリを開発	16
効果ビフォーアフター	17
おわりに	18
Power Appsで効果的な業務改善	
サービスメニュー	19
企業情報	21

1. 導入の背景

課題：難易度の高い大規模PJ管理・現場のDX推進

従業員数約7,300人を抱え、屈指のプロジェクト遂行力・技術力で、世界各地のプラント事業を手掛ける総合エンジニアリング企業のA社様。

同社は海外の**大規模プロジェクトの管理効率を上げる、情報共有プラットフォームの導入**を検討。その一環で**海外にある現場のサポートと意思疎通を迅速に行えるアプリの開発**を目指していました。

また、建設現場ではITがなかなか浸透していなかったため、現場監督の負担解消も大きなテーマでした。

企業 プロフィール

【業種】総合エンジニアリング

【企業規模】約7,300人

【企業概要】

主に海外のプラント・施設のエンジニアリング事業を行い、海外に多くの事務所を持つ

3.導入の効果

効果1：作成したアプリで現場の業務効率を向上

- 作成したアプリによって現場管理がスムーズになったことで、プロジェクト遅延やアクシデントを未然に避け、コストを約5億円もカット
- 現場監督は現場にいながら報告業務が可能になるため現場と事務所の往復する手間や時間のロスがなくなった
- システム化により報告フォーマットが統一され情報の管理をしやすくなった
- アプリの情報から、状況把握や要員計画を立てることが可能に

